

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

最高の物流品質を提供し、国民生活の向上と共に顧客・株主・取引先・従業員の信頼に応える堅実経営を基本に、国内商業物流のトップ企業を目指す

ROE
8.0%以上

② 中長期の経営戦略

1. 特積み事業の効率化

2024年問題への対応としてO.P.P.を推進し、持続可能な社会実現と物流業界全体の効率化を図る

3. 貸切事業の利便性向上

貸切集中配車センターでCS向上を目指し、ハコベル活用により貸切手配100%保証エリアを拡充

2. ロジスティクス事業の拡大

物流診断サービスでのコンサルティング営業と産業別（エレクトロニクス・ヘルスケア・オートモティブ・バッテリー）ロジスティクス展開でお客様価値を創造

4. 自動車販売事業の最適化

乗用車では店舗リニューアル・商圈分析による拠点統廃合で店舗網を最適化し、トラック販売では新車販売加速と金融商品増販を推進

③ 対処すべき課題

① ドライバー不足への対応

- ・持続可能な輸送力確保とパートナーとの共創で業界全体の効率化を実現
- ・適正運賃収受で持続可能なビジネスモデルを構築

② 顧客ニーズへの対応力強化

- ・物流診断で人手不足課題を解決し顧客に成り代わって改善提案
- ・産業別・顧客別のニーズに合わせたロジスティクス提案を実施

③ 人材採用・育成・定着

- ・整備士の採用・育成・定着に向けた職場環境整備を継続的に実施
- ・社員へのキャリアプラン構築と教育制度を拡充

面接で使えるポイント

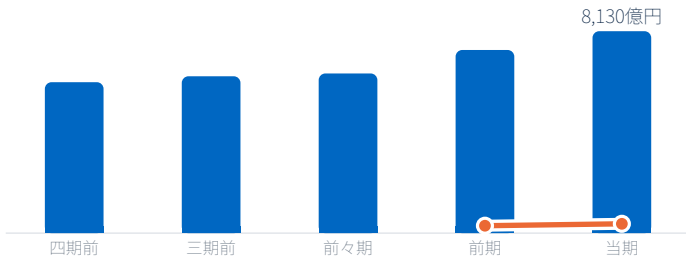
- ・路線トラック輸送のパイオニアとして、2024年問題への対応と業界効率化を主導するセイノーグループの成長戦略に貢献できる
- ・ロードマップ2028で掲げたROE8.0%以上実現に向け、ロジスティクス・貸切事業などの成長分野で新しい価値創造に挑戦で…
- ・物流診断サービスやハコベル等の新サービスを通じ、顧客課題解決と業界全体の持続可能性に直接貢献できる

セイノーホールディングス株式会社

陸運業 | プライム（内国株式） | 決算期 3月31日 | 連結…

証券コード 9076

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
8,130億円

営業利益率
4.6%

財務健康度
34点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 60.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
712万円

陸運業内 24位/57社

平均年齢
43.6歳

陸運業内 31位/57社

平均勤続
17.4年

陸運業内 19位/57社

女性管理職
3.4%

陸運業内 36位/46社

男性育休
40.0%

陸運業内 38位/44社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: セイノーホールディングス[9076]: 社外取締役の辞任に関する

セイノーホールディングス株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

